

2023年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年9月26日

上場会社名 株式会社大光

上場取引所 東

コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介

TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 2022年10月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第1四半期の連結業績(2022年6月1日～2022年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第1四半期	15,083	21.5	5		19		4	
2022年5月期第1四半期	12,417	8.3	213		174		134	

(注) 包括利益 2023年5月期第1四半期 28百万円 (%) 2022年5月期第1四半期 123百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第1四半期	0.38	
2022年5月期第1四半期	10.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期第1四半期	18,011	4,216	23.4	318.18
2022年5月期	17,918	4,247	23.7	320.56

(参考) 自己資本 2023年5月期第1四半期 4,216百万円 2022年5月期 4,247百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期		4.50		4.50	9.00
2023年5月期					
2023年5月期(予想)		4.50		4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日～2023年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,570	16.7	18		6		13		0.98
通期	63,000	13.1	360	160.9	400	71.7	240		18.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)及び(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年5月期1Q	13,450,800 株	2022年5月期	13,450,800 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年5月期1Q	200,012 株	2022年5月期	200,012 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年5月期1Q	13,250,788 株	2022年5月期1Q	13,250,788 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで経済社会活動の回復に向けた動きが見られるものの、急激な円安の進行やロシア・ウクライナ情勢に起因する世界的な資源・原材料価格の高騰など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、資源・原材料価格の高騰による仕入価格や物流費等の上昇、物価上昇による消費者の選別志向や節約志向の高まりなどから、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、業務用食品等の卸売事業である「外商事業」においては、既存得意先との深耕を図るとともに、多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」においては、新規店舗を開業するとともに、品揃えの充実化や営業活動の強化など、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行っておりまいりました。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、既存得意先との深耕を図るとともに、輸出版売の推進や新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は150億83百万円（前年同期比21.5%増）、営業利益は5百万円（前年同期は営業損失2億13百万円）、経常利益は19百万円（前年同期は経常損失1億74百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億34百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(外商事業)

当事業におきましては、既存得意先との深耕を図るとともに、給食、病院、中食など幅広い業態への新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、業務の効率化による人件費の削減や物流費をはじめとした経費の抑制に取り組み、収益性の向上を図ってまいりました。

この結果、外商事業の売上高は92億15百万円（前年同期比27.3%増）、営業損失は71百万円（前年同期は営業損失1億99百万円）となりました。

(アマカ事業)

当事業におきましては、各店舗において、メーカーフェア等の販売施策の展開や、SNSを活用した販促活動の強化、家庭内消費に適したアイテム拡充など、外食事業者から一般消費者まで幅広いお客様にご利用しやすい店舗運営に努めてまいりました。新規出店については、2022年7月に四日市店（三重県四日市市）を移転オープンいたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は50億4百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は2億89百万円（前年同期比30.7%増）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として48店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、大手水産会社をはじめとする既存得意先との深耕を図るとともに、輸出版売の推進や新規開拓の強化に努めてまいりました。また、採算管理の徹底や経費抑制に取り組み収益性の向上を図るとともに、外商事業及びアマカ事業と連携し当社グループの水産品ラインナップ強化を推進してまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は9億2百万円（前年同期比52.9%増）、営業利益は43百万円（前年同期比66.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して商品が2億2百万円増加したこと等により、流動資産は全体で87百万円増加しました。一方固定資産は、全体で5百万円増加しました。その結果、資産総額は、前連結会計年度末と比較して93百万円増加し、180億11百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して支払手形及び買掛金が4億87百万円増加したこと等により、流動負債が全体で3億52百万円増加しました。一方固定負債は、長期借入金が2億25百万円減少したこと等により、全体で2億28百万円減少しました。その結果、負債総額は、前連結会計年度末と比較して1億24百万円増加し、137億95百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して31百万円減少し、42億16百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期の業績予想につきましては、2022年7月14日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	282,763	394,230
受取手形及び売掛金	5,012,376	4,832,508
有価証券	50,175	50,080
商品	4,266,682	4,468,763
貯蔵品	65,218	65,913
その他	1,114,006	1,067,534
貸倒引当金	△1,980	△1,891
流動資産合計	10,789,241	10,877,140
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,249,171	3,196,946
その他(純額)	1,128,003	1,103,634
有形固定資産合計	4,377,175	4,300,581
無形固定資産	23,188	21,437
投資その他の資産		
投資有価証券	878,140	984,449
その他	1,863,047	1,840,542
貸倒引当金	△12,733	△12,795
投資その他の資産合計	2,728,453	2,812,196
固定資産合計	7,128,817	7,134,215
資産合計	17,918,058	18,011,356

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,890,374	6,377,608
短期借入金	1,839,500	2,013,500
1年内返済予定の長期借入金	900,240	900,240
未払法人税等	119,193	27,854
賞与引当金	225,970	114,760
ポイント引当金	25,354	22,300
その他	1,090,626	987,961
流動負債合計	10,091,259	10,444,224
固定負債		
長期借入金	1,950,006	1,724,946
役員退職慰労引当金	298,591	289,596
退職給付に係る負債	428,385	432,597
資産除去債務	484,957	498,690
その他	417,248	405,186
固定負債合計	3,579,189	3,351,015
負債合計	13,670,448	13,795,240
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,076,372	1,076,372
資本剰余金	980,171	980,171
利益剰余金	2,167,322	2,112,684
自己株式	△33,904	△33,904
株主資本合計	4,189,962	4,135,323
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,721	73,019
繰延ヘッジ損益	△20,372	247
退職給付に係る調整累計額	8,299	7,524
その他の包括利益累計額合計	57,647	80,791
純資産合計	4,247,610	4,216,115
負債純資産合計	17,918,058	18,011,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)
売上高	12,417,810	15,083,880
売上原価	9,968,312	12,196,850
売上総利益	2,449,498	2,887,030
販売費及び一般管理費	2,662,752	2,881,613
営業利益又は営業損失(△)	△213,253	5,417
営業外収益		
受取利息	2,978	3,082
受取配当金	4,051	3,306
受取賃貸料	22,100	23,151
受取手数料	5,041	5,412
助成金収入	28,703	—
その他	3,555	7,105
営業外収益合計	66,431	42,057
営業外費用		
支払利息	5,234	5,150
賃貸費用	17,311	17,271
固定資産除売却損	232	619
その他	5,174	5,176
営業外費用合計	27,953	28,218
経常利益又は経常損失(△)	△174,775	19,256
特別損失		
投資有価証券売却損	2,849	—
特別損失合計	2,849	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△177,625	19,256
法人税、住民税及び事業税	12,534	14,675
法人税等調整額	△55,797	△408
法人税等合計	△43,262	14,266
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△134,362	4,989
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△134,362	4,989

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△134,362	4,989
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,099	3,298
繰延ヘッジ損益	1,336	20,620
退職給付に係る調整額	△625	△774
その他の包括利益合計	10,810	23,144
四半期包括利益	△123,551	28,133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△123,551	28,133
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

不動産賃貸契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、退店等の新たな情報の入手に伴い、店舗の退店時に必要とされる原状回復費用に関して、見積りの変更を行いました。

この見積りの変更による増加額12,085千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年6月1日 至2021年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	7,237,926	4,605,235	570,004	12,413,167	4,643	—	12,417,810
セグメント間の内部売上高又は振替高	427	4,147	20,432	25,007	—	△25,007	—
計	7,238,354	4,609,383	590,437	12,438,175	4,643	△25,007	12,417,810
セグメント利益又は 損失(△)	△199,988	221,459	26,453	47,924	1,873	△263,052	△213,253

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△263,052千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年6月1日 至2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	9,215,577	4,999,844	863,654	15,079,076	4,804	—	15,083,880
セグメント間の内部売上高又は振替高	411	4,940	39,286	44,638	—	△44,638	—
計	9,215,988	5,004,785	902,941	15,123,715	4,804	△44,638	15,083,880
セグメント利益又は 損失(△)	△71,443	289,454	43,927	261,938	2,633	△259,154	5,417

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△259,154千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。